

子宮頸がんなど3ワクチン実施へ

沼田市は、このほど子宮頸がん、ヒブ、肺炎球菌の3ワクチンについて実施することを決定しました。日本共産党市議団は、以前からこれらのワクチンの実施を求めてきましたが、政府が平成22年度、23年度について実施する自治体に2分の1補助の予算化をしたことを受けて、全国的にもほとんどの自治体に取り組む方向を示しています。

対象者は3月から受けられます

子宮頸がんワクチンの接種は3回で、対象者は中学1年生から高校1年生の女子です。現在高校1年生が1回目を受けられるように（2回目以降は高校2年生になって受けられるよう）3月1日から実施されます。また、ヒブ・肺炎球菌ワクチンの接種は4回で、対象は0歳から1歳児です。これも3月1日から受けられます。費用は、自己負担なしで受けられるよう検討されています。

3ワクチンとは？



- ①子宮頸がんの原因となるヒトパピローウイルス（HPV）ワクチンは、13歳の女児に3回接種し、16歳まで受けられます。
- ②乳幼児の細菌性髄膜炎の原因となるインフルエンザ菌b型（Hib=ヒブ）と③小児用肺炎球菌ワクチンは、0歳時に3回受け、1歳時に1回受けるのが原則で、受けていない人は2～4歳時に1回受ける。

後期高齢者医療制度国保に統合 新医療制度最終報告案

後期高齢者医療制度に代え新たな高齢者医療制度を検討していた厚生労働省の「高齢者医療制度改革会議」は、最終報告案を発表しました。それによると、75歳以上の8割強、約1200万人を現在市町村運営の国民健康保険に移し、都道府県が財政運営を受け持つことが柱で、2018年度を目標に全年齢で都道府県単位化する方針も盛り込まれています。

高齢者は負担増に

負担面では、75歳以上の低所得者を対象に実施されている保険料軽減の特例措置の縮小や75歳以上の保険料上限を50万円から63万円に引き上げ、70歳～74歳の窓口負担を現在の1割負担を段階的に2割負担に引き上げることを決めています。



無料法律相談

お気軽に
ご相談下さい！ **2月9・23日(水)**
午後1時から（毎月第2・4水曜日）
場所：下久屋町983 利根沼田地区委員会事務所
TEL 23-1519（議員団や顧問弁護士が対応します）

「新春のつどい」にお出かけ下さい

2月6日午後2時から 利根沼田文化会館3階会議室

津軽三味線演奏有り！

井之川博幸市議がお話しします

2011年1月30日 No.547

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料